

# 平成29年度シラバス（国語総合）

学番78 新潟県立海洋高等学校

教科(科目)	国語総合	単位数	4単位	学年(コース)	1学年(水産科)
使用教科書	改訂版 新編国語総合(第一学習社)				
副教材等	常用漢字の1・2トライ(浜島書店)				

## 1. 学習目標

国語を適切に表現し、的確に理解する能力を育成し、伝えあう力を高める。国語を通して思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨く。言語文化に対する関心や知識・理解を深める。

## 2. 指導の重点

- ①常用漢字の習得(読み、書き)を目指した指導。
- ②一般常識的言語知識の習得を目指した指導。
- ③文章を正確に読解する能力を高め、相手や目的、意図に応じた文章を書く能力を高める指導。

## 3. 学習計画

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法	
4	課題テスト	入学前学習課題	・事後指導、要点の復習	2	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題の提出 ノート提出 感想文の提出 定期考査	
	新しい発見	挨拶上手 (松浦弥太郎)	・随想の読み方を習得する。 ・挨拶の持つ意味について考える。 ・社会との関わり方について目を向けるきっかけとする。	・指名による音読 ・漢字の読み書きの練習 ・語句の意味調べ ・段落の要点整理		3
		身近な動植物の名を覚えよう (河合雅雄)	・身近な世界に目を向けるきっかけとする。 ・名前の持つはたらきを考える。 ・「名前」と「自然」がどのように関わるのか読み取る。	・動植物の名の由来を調べる。		4
	小説を読む(一)	指 (鷲沢 萌)	・短編小説のおもしろさを味わい、その鑑賞のしかたを学ぶ。 ・登場人物の心情の変化を的確に読み取る。	・会話による展開効果やタイトルの意味を考え、発表する。		4
5	生活の中の表現	日本語のこころ (金田一春彦)	・言葉に対する認識を深め、自らの言語生活に生かす。 ・論理的な文章に慣れ、主張を的確に捉える。 ・身近な表現から日本人の発想や心情などを理解する態度を養う。	・論に即して具体例を整理して捉える。	4	
	二学期中間考査		・事後指導、要点の復習	1 1		
5	小説を読む(二)	羅生門 (芥川龍之介)	・近代の代表的な小説を読んで、読解力を養う。 ・登場人物の性格、行動、心理を的確に読み取る。 ・感想文を書いて作品鑑賞を深める。	・作者理解 ・場面と人物の心理変化を整理して捉える。 ・読みに即して下人のその後について文章化する	8	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題の提出 ノート提出 感想文の提出 定期考査
6	現代と社会	イースター島になぜ森がないのか (鷲谷いづみ)	・評論の読解方法を身につける。 人類の存続という問題を自分の問題として考える姿勢を養う。	・他の環境問題の調べ学習	4	
	短歌と俳句	大切の言葉 手毬歌	・短歌、俳句の鑑賞のしかたを習得する。 ・近現代の代表的な短歌・俳句を読み味わい、鑑賞文を書く。		7	
6	一学期末考査		・事後指導、要点の復習	1 1		
7	人間の風景	十六歳のとき (星野道夫)	・随想の読み方を習得する。 ・同年代の若者の心象に触れ、自らの人生について考える姿勢を養う。		4	

	社会と人間	人はなぜ仕事を するのか (内田樹)	・論理的要素を持つ随想を的確に読解 する。 ・仕事の意味について考え、話し合う。		4	
8	課題テスト	夏季課題			1	
9	古文入門	表現の学習 古文の学習  プリント学習 鳩と蟻のこと  一休ばなし	・不特定の人に向けた表現を練習する。 ・古文を学習する意義を知り、今後の 学習に意欲を持つ。 ・古文と現代文の違いを理解し、今後 の学習ポイントを把握する。 ・仮名遣いに慣れ、音読ができるよう になる。	・投書作文の実作 ・本文書写 ・歴史的仮名遣いの練習 ・音読の練習 ・古語辞典を使用した基 本的古語の意味調べ ・文法用言の理解	1 1 3 2 3	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題の 提出 ノート提出 小テスト 定期考査
	古文に親し む	児のそら寝	・古文に親しみをもち、本文を部分的 に口語訳できるようになる。		4	
10	物語を楽し む	竹取物語	・本文を正しく音読する。 ・古文に親しみをもち、かつ本文を適 切に口語訳できるようになる。	・文学史上の基礎知識 ・適切な口語訳	4	
	三学期中間 考査			・事後指導、要点の復習	1 1	
11	随筆を読む	枕草子 徒然草	・随筆を読んで、人間や社会に対する 作者の思想や感情を読み取る。 ・表現上の特色を理解し、優れた表現 に親しむ。	・人物の行動と心情の整 理。 ・和歌の鑑賞	6 5 5	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題の 提出 ノート提出 小テスト 定期考査 レポートの 提出
12	古典の詩歌	奥の細道	・俳諧紀行文を読み、自然・人間など に対する思想や感情を読み取る。 ・文章の内容を構成や展開に即してと らえ、修辞技巧を理解する。		4	
	二学期末 考査			・事後指導、要点の復習	1 1	
	表現の学習		・プリント教材を使用して、適切な表 現についての基礎知識を確認し、文章 表現や表記への抵抗をなくす。		3	
	小説を読む (四)	鉄道員 (浅田次郎)	・現代の長編小説を読んで、読解力を 養う。 ・登場人物の性格・心理・行動を的 確に読み取る。	・映画化作品との違いを 把握する。	5	
12	課題テスト	冬季課題			1	
	表現の実践	①	・資料を口頭で説明するしかたを学ぶ。	・地図情報を丁寧に言葉 で表現する。	1	
	漢文入門	漢文の学習  訓読に親しむ(一) 訓読に親しむ(二) 訓読に親しむ(三)	・漢文を自国の文化に取り入れた先人 の工夫を理解し、漢文を学習する意義 を知る。 ・漢文の構造、漢字・漢語の正しい意 味・用法を理解する。 訓読、書き下し文のきまりを理解する。	・返り点の練習 ・範読・音読 ・書き下し文の練習 ・確認小テスト ・格言の比喩理解	8	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題の 提出 ノート提出 小テスト 定期考査
1	故事成語	五十歩百歩 矛盾	・漢文訓読の基本事項を確認する。 平易な短い文章を読み、漢文の内容を 理解する	・口語訳 ・おもな故事成語の調べ 学習	6	
2	漢詩の鑑賞	漢詩の世界	・唐詩を読み味わい、中国古典文学へ の関心を高める。 ・表現された情を理解し、味わう。	・漢詩の押韻・対句理解  ・訳詩の創作	4 2	

3	学年末考査			・事後指導、要点の復習	1 1	創作の提出
	表現の実践	③⑧ 説明文・意見文 を書く	・説明文・意見文の書き方を理解し、 実際に書く。 ・発表し、相互評価して表現を高める。	・テーマの収集・構想メモ ・記述 ・推敲 ・相互評価	5	

計 1 2 8 時間 ( 5 5 分授業 )

#### 4. 課題・提出物等

- ・ 4 月～ 3 月まで継続して毎週 1 回漢字テストを実施する。合格点に届かない場合は不合格課題を課す。
- ・ 長期休業中の課題は別途指示する。課題テストを実施し、各学期の評価に反映する。
- ・ 学習課題やノート、問題集等の提出は単位取得のための必須条件とする。

#### 5. 評価規準と評価方法

評価は以下の 5 つを総合的に判断して行う。

評価の観点				
a. 関心・意欲・態度	b. 話す・聞く能力	c. 書く能力	d. 読む能力	e. 知識・理解
国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深めようとしている。 ・授業態度 ・課題提出 ・出席状況	目的や場に応じて効果的に話的確に聞き取ったりして、自分の考えをまとめている。 ・発問評価 ・授業態度	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめている。 ・感想文提出 ・課題、ノート提出 ・定期考査	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、考えを深めている。 ・指名音読 ・課題の完成度 ・定期考査	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。 ・課題テスト ・定期考査 ・小テスト

#### 6. 担当者からの一言

日本語を的確に理解し、場に応じた表現ができることは、言葉で生きる私たちにとってすべての基本であり、避けては通れません。  
日常会話や短い言葉のやりとりで良しとせず、学習を通じて基本を定着させ、読書を通じて世界や表現を広げていくことに積極的になりましょう。中学校までの復習学習も適宜行っていきます。苦手意識のある人も前向きに頑張りましょう。  
担当 草住公一